和教時報
2021年２月15日（月）発行　第1970号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

高校再編ではなく、少人数学級など教育条件の整備を

和教組　副執行委員長　野口　共

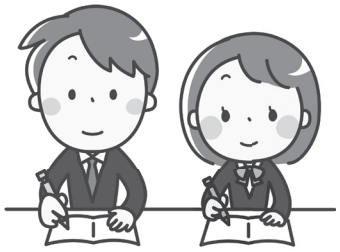
計画に地域の声を！

二〇二〇年八月、「第六期きのくに教育審議会」が、今後一五年を見通して県立校のあり方についての答申を県教委に行いました。答申では、生徒減を理由に全日制高校の削減（二九校→二〇校程度）を求めています。しかしこの間、県教委のこのやり方に対し、地域から「拙速だ」などの批判の声が上がっています。私たち和教組としても、地域の声を無視した一方的な高校再編には反対です。学校の統廃合等というのは、本来上から押し付けるものではなく、その地域の当事者たちが考えるべきものです。

この高校再編が地域の声を無視した形で実施されればどのようなことが起こるでしょうか？

遠距離通学による様々な負担が

まず心配されるのは、遠距離通学や不本意な入学が増えます。県教委は、全県一学区制を導入して、行きたい学校へ行けるようになると説明してきましたが、一方で自分の家の近くに高校があり、その高校へ行きたいと思ったとしても、全員がいけるわけではありません。また遠距離通学となると、通学費用が掛かり家庭の経済的負担が増えます。



また高校は、その地域にとって重要な地域コミュニティの中心です。地元の高校がなくなれば、人口減少に拍車をかけ、地域が衰退してしまいます。高校によっては地域とともに街づくりにかかわっているところもありますし、市町村と連携して様々な取り組みを行っている高校も少なくありません。

まずは少人数学級などの環境整備を

また県教委は、高校再編骨子案の中で高校を七つのカテゴリーに分類し、一部の学校を特任高校と位置づけ更なる序列化を図ろうとしています。高校教育の本来の目的とは何でしょうか？学校教育法には「高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする」と書かれています。県教委が行うべきことは、高校削減ではなく、誰もがどこの地域でも等しく高校教育を受けることのできること、また少人数学級などの環境整備を行うことではないでしょうか？

女性部リモート新春の集い

女性部　書記長　岩田　美和

女性部では毎年恒例の、「新春のつどい」を一月九日に開催しました。今年は文化行事もスイーツも我慢し、学習をメインとした集会になりました。六一名の方々にリモートを駆使しながらご参加いただきました。講師は大阪市立大学准教授で「『人新世』の資本論」の著者、斎藤幸平さんです。ドイツの大学院時代にマルクスの研究でドイッチャー賞を史上最年少で受賞されました。マルクス＝「資本論」という知識はあった方もいたかもしれませんが、今回のテーマは「コロナ禍から気候危機へ未来への分岐点における社会運動」として、今まさにコロナ禍で見直しが必要な経済活動や私たちの暮らしに焦点を当てた話でした。

気候変動対策に本気で取り組まなければ取り返しがつかない世界になることや、SDGsを謳いながら自社の商品を売り込み、経済成長をし続けようとする企業のサイクルの中に、私たちも浸りながらそれで満足してはいないか等、頷く事ばかりでした。

しかし、どれだけAIが普及しても教職員の仕事はそれには代われないということにも気づかされ、若い研究者に勇気と希望を与えてもらいました。

一人で考えるのが難しい課題に、共に考え、取り組むことができる社会にするために、大切な仲間の存在を実感しました。

全国障害児学級、学校学習交流集会　オンライン開催!!　1月10日～11日

子ども理解から実践を!!

紀伊コスモス支援分会　芝崎　裕美

第九分科会では三本のレポート発表があり、話し合いました。二本は小学部低学年の自閉症の子どもに対する実践、一本は寄宿舎での取り組みのレポートでした。

自分の気持ちをうまく伝えられない子、偏食の強い子、授業に入れない子、友だちとトラブルを起こしてしまう子、等様々な困り感のある子どもたち。レポーターの先生方は、そんな子どもの姿に悩みながら理解しようとし、時には「甘やかしている」と言われながらも子どもに寄り添い、指導を工夫されていました。そしてその中で育っていく子どもたちの姿に、改めて子どもの内面を探り、共感することの大切さを感じました。最近の小学部には一定の生活スキルがあり、知的にも高い子どもたちが在籍しています。そんな子どもたちの内面を軽視し、「できる」ことを目標にしがちではなかったか、結果をもとめた指導になっていないか、と反省させられました。一面的な指導にならないためにも、教師間の話し合いは大切です。鳥取大学で障害児教育を教える三木裕和先生は「世間話や雑談の中で子どもの話ができることが大切」だとおっしゃいました。今、教師の多忙化によって、子どものことを話す機会が減っているように感じます。どの教師も自分の思いを自由に話し、一緒に考えるゆとりのある環境でこそ子ども理解が深まるのではないかと感じました。「子ども理解はいい実践の中でしか育たない」とおっしゃった三木先生の言葉を胸に、明日からの実践につなげたいと思います。

青年部学習会　ヤングジャンボリー

2月27日(土) 14時～

こちらから
お申し込みください→

竹沢清先生　オンライン参加もOK！

「子どもの『困り感』から出発する教育」

青年部主催の学習会「ヤングジャンボリー２０２０」を開催します。会場はプラザホープ（和歌山市北出島）ですが、コロナ感染予防のため、大勢で集まることができませんので、オンライン参加も可能です。コロナ予防は重要ですが、「人とのつながり」もなくてはならない大切なものです。オンラインも併用して青年教職員のみなさん、しっかりつながって学び合いましょう！

講師は、竹沢清先生。愛知県で聴覚障害児教育に携わってきた方です。「気になる子どもの行動の内側にどんな思いや願いがあるのだろう…」、子どもへのあたたかい眼差しが素敵な先生で、具体的な経験をもとにお話しをしてくださいます。『子どもの真実に出会うとき』（全国障害者問題研究会出版部）など著書も多数です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

参加無料。会場参加の方もオンライン参加の方も、ＱＲコードから、またはメール（w_seinen@wkn.or.jp）等で、和教組へ申し込んで下さい。

なお、コロナ感染症の状況によっては、竹沢先生に愛知県からご講演していただくこともありますので、ご了承ください。

フクシマを忘れない！

「オンライン」学習会へご参加を！

今年の三月十一日で福島原発事故から丸十年を迎えます。マスコミではほとんど福島の現状について報道されなくなっていますが、今なお、四万人以上の方が故郷に戻れず、避難生活を余儀なくされています。

一方で、政府・東京電力は「復興」のイメージづくりと賠償打ち切りのため、放射能基準値を引き上げ、強引に帰還困難区域を解除しています。

私たち自身も日々の課題に追われ、時間の経過とともにフクシマへの関心が薄れがちになっていますが、原発事故から十年の節目を迎えるこの時期に、改めてフクシマの現実・実態を学びあいましょう！

まちがいさがし当選者（10名）

おめでとうございます。
当選者の皆様には「学校生協ギフトカード」を贈呈いたします。

支部	分会	氏名
伊都	九度山小分会	綿田　綾子　様
那賀	調月小分会	吉瀬　千代　様
海草	亀川小分会	芝﨑　俊美　様
海草	小川小分会	上田　香織　様
海草	美里中分会	米田　　充　様
有田	広小分会	中谷　有美　様
日高	印南小分会	池下　吉美　様
日高	中津小分会	山﨑扶美子　様
西牟婁	龍神中分会	小出　裕子　様
西牟婁	大坊小分会	中川　敬之　様

たくさんのご応募ありがとうございました。

オンライン学習会

＊日時／2021年**3**月**14**日(日) 13:30～15:30

＊会場／「ズームミーティング」によるオンライン開催

＊講師／**佐々木健洋**氏（福島県農民連事務局長）

＊演題／**「原発事故から10年、被災地フクシマの厳しい現状」**

＊申し込み方法

・３月１日～10日の間に下記のアドレスへメールで申し込んでください。その際には①氏名　②支部名・学校名　③連絡先の電話番号は必ず記載してください。

【メールアドレス】　w_genpatsuzero@wakyoso.com

＊後日、和教組本部から送信元のアドレスに、ズームミーティングへの参加に必要な**「ＩＤ」**と**「パスコード」**を送ります。

私の
human library

6 父のような 母のような 先生に

河南中学校分会　阪本　理信

私に影響を与えた人たちというお題でお話をいただき、真っ先に思い至ったのが小学校の恩師の姿でした。出会う先生、全てが素晴らしい先生で一人一人の顔が思い浮かんできます。やさしく生活の基礎を教えていただいた庄田先生、厳しくルールと正義について教えていただいた山本先生、ユーモアで独創的なアイデアマンの木村先生、そして六年生のころ自分の母のように感じられた北澤先生と思い返しただけでも、キャラクター豊かな先生方にお世話になりました。

よく中学校の進路学習で、自分の適性や将来像について話し合ったり、いろんな職業調べをしたりします。そんな時、生徒によく聞かれるのは「なぜ、先生は教師になろうと思ったのか」です。そんな時は「はじめは教師になろうと思っていなかった。いろいろと悩み、やはりこれが自分のしたい職業と気がついた。」などと悩みあがいた経験談を話して聞かせてあげるのが普通ですが、私の場合は小学校の頃から一途に教師になりたいと考えてきたため、あまり生徒の参考にならない経験談を話していました。（笑）

それほどに、出会う先生というのは本当に影響力があるのだと感じます。とくに母親に感じるほどに先生を慕い、父親にしつけられるかのように感じられるのは、学校が一日の大半を過ごす場所であり、その場所を快適な空間にしようと努力してくれている先生の姿を感じ取っていたためではないでしょうか。

今、その立場になりまだまだ力不足な点もあるかもしれませんが、ある女生徒に「おかあちゃん」と間違って呼ばれたことは、私の誇りです。

2021年度

奨学生募集のお知らせ

無利息で奨学金を貸付します。

応募資格	国・公・私立大学・大学院・短期大学・高等専門学校（第４学年以上の在学生に限る）及び専修学校（学校教育法「第７章の２」に基づく）に在学しているか、入学手続きを完了したもの。（但し海外の大学は対象外です）
募集期間	2021年２月１日～４月20日
募集人員	20～25名
貸付金額	修学１年につき25万円で、新入学の場合、最高４年で100万円
利　息	無利息（但し、返済期限を過ぎた場合は延滞利息を徴収します）
申込方法	ジブラルタ生命教弘担当社員、または、下記の事務局へ申し出てください。「奨学生申請書」をお送りします。
選考・決定	当支部の教育振興事業選考委員会にて審査、選考をおこない、和歌山支部長の推薦をへて本部理事長が決定します。
奨学金送金予定	2021年６月初旬
奨学金の返済	奨学金は原則として卒業年の12月を第１回とし、100万円借用者の場合は７回以内、それ以外は５回以内の年賦返還（毎年12月）。

日本教育公務員弘済会和歌山支部
〒640-8269 和歌山市小松原通3-20
TEL. 073-421-7881
FAX. 073-488-7202

医療共済 春のキャンペーン中

２～５月までに加入された方（本人限定）へ！

ハーゲンダッツミニカップ ギフト券をプレゼント!!

お問い合わせ・資料請求
和教共済：073-436-7860